

# 教育・文化分野の政策目標・施策目標の変更について

## 資料1-3

第50回文部科学省政策評価に関する  
有識者会議(平成31年3月28日)

- 文部科学省政策評価基本計画別紙1「文部科学省の使命と政策目標」については、基本的な政策の体系と評価の体系を一致させ、効果的なPDCAサイクルを実現する観点から、省の各政策分野の基本計画と整合性の取れた目標設定を行うこととしている。
- また、政策目標・施策目標は、予算書の項・事項(局課等の組織と原則として対応)と一致させることにより、予算の執行と政策効果との対応関係が分かりやすくなるよう定める必要がある。
- 昨年3月に「文化芸術推進基本計画」が定められた他、「第3期教育振興基本計画について」が昨年6月に閣議決定された。更に、昨年10月1日に、教育部局及び文化庁の組織再編を行い、これらとの整合性を勘案しながら、本年度中に教育・文化分野の政策・施策目標の変更をしたい。

### 第3期教育振興基本計画について(平成30年6月15日閣議決定)

1. 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する  
<主として初等中等教育段階>  
目標(1) 確かな学力の育成  
目標(2) 豊かな心の育成  
目標(3) 健やかな体の育成  
<主として高等教育段階>  
目標(4) 問題発見・解決能力の修得  
<生涯の各段階>  
目標(5) 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成  
目標(6) 家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進
2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する  
目標(7) グローバルに活躍する人材の育成  
目標(8) 大学院教育の改革等を通じたイノベーションを牽引する人材の育成  
目標(9) スポーツ・文化等多様な分野の人材の育成
3. 生涯学び、活躍できる環境を整える  
目標(10) 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進  
目標(11) 人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進  
目標(12) 職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進  
目標(13) 障害者の生涯学習の推進
4. 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する  
目標(14) 家庭の経済状況や地理的条件への対応  
目標(15) 多様なニーズに対応した教育機会の提供
5. 教育政策推進のための基盤を整備する  
目標(16) 新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備等  
目標(17) ICT利活用のための基盤の整備  
目標(18) 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備  
目標(19) 児童生徒等の安全の確保  
目標(20) 教育研究の基盤強化に向けた高等教育のシステム改革  
目標(21) 日本型教育の海外展開と我が国の教育の国際化

### 文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)

- 目標1: 文化芸術の創造・発展・継承と教育  
目標2: 創造的で活力ある社会  
目標3: 心豊かで多様性のある社会  
目標4: 地域の文化芸術を推進するプラットフォーム

